

2019年度秋期 現代数学 B (担当: 角皆)

学生番号: _____ 氏名: _____

4 (本問では、実数全体の集合 \mathbf{R} は、従来素朴に知っているものとして考えてよい。)

- (1) \mathbf{R} の次の部分集合 X_i に対して、最大値・最小値・上限・下限がそれぞれ存在するか。存在するならその値を解答欄に記せ。存在しないなら「なし」と記せ。

\mathbf{R} の部分集合	最大値	最小値	上限	下限
$X_1 = [-2, 3)$ $= \{x \in \mathbf{R} \mid -2 \leq x < 3\}$				
$X_2 = (0, +\infty)$ $= \{x \in \mathbf{R} \mid x > 0\}$				
$X_3 = \left\{1 - \frac{1}{n} \mid n = 1, 2, 3, \dots\right\}$				
$X_4 = \left\{(-1)^n \left(1 - \frac{1}{n}\right) \mid n = 1, 2, 3, \dots\right\}$				
$X_5 = \{x \in \mathbf{Q} \mid x^2 \leq 3\}$				
$X_6 = \{x \in \mathbf{Q} \mid x^3 \leq 5\}$				

- (2) 集合族 $(X_n)_{n \geq 1}$ に対し、その共通部分および合併をそれぞれ $\bigcap_{n \geq 1} X_n$, $\bigcup_{n \geq 1} X_n$ と

書く:

$$\bigcap_{n \geq 1} X_n := \{x \mid \forall n \geq 1 : x \in X_n\}, \quad \bigcup_{n \geq 1} X_n := \{x \mid \exists n \geq 1 : x \in X_n\}.$$

次で定める集合族 $(X_n)_{n \geq 1}$ に対し、 $\bigcap_{n \geq 1} X_n$, $\bigcup_{n \geq 1} X_n$ は何か。

(a) $X_n = \left[-\frac{1}{n}, \frac{1}{n}\right) = \left\{x \in \mathbf{R} \mid -\frac{1}{n} \leq x < \frac{1}{n}\right\}$

(b) $X_n = \left[0, 1 - \frac{1}{n}\right] = \left\{x \in \mathbf{R} \mid 0 \leq x \leq 1 - \frac{1}{n}\right\}$

(c) $X_n = [n, 2n] = \{x \in \mathbf{R} \mid n \leq x \leq 2n\}$

(3) $a_n = \left(1 + \frac{1}{n}\right)^n$ で定める実数列 $\mathbf{a} = (a_n)_{n=1}^{\infty}$ について、

(a) 上に有界であることを示せ。

(ヒント：二項定理 $(x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^{n-k} y^k$ (ここに $\binom{n}{k} := \frac{n!}{(n-k)!k!}$ は二項係数) で展開して、 $k! \geq 2^{k-1}$ であることなどを用いて各項を上から評価すれば、 $a_n \leq 3$ くらいで押さえられる。)

(b) 単調増加であることを示せ。

(ヒント： a_n と a_{n+1} との二項展開の各項を比較せよ。)

これから、実数の連続性(上に有界な単調増加数列は極限値を持つ)により、 \mathbf{a} の収束先となる実数の存在が保証される。(この極限値が自然対数の底(Napier数) e に他ならない。)